

## 対馬地鶏交雑ブロイラーの肉質改善

宮園歴造・平瀬一博・大浦均一・平島 元 (長崎県畜産試験場養鶏分場)

MIYAZONO, R., K. HIRASE, K. OURA and H. HIRASHIMA: A Comparison of White Cornish White Plymouth Rock Crosses, Tsushima Jidori Rhode Island Red Crosses, Tsushima Jidori White Plymouth Rock Crosses in Growth, Carcass Characteristics and Meat Quality

1978年度に対馬地鶏の発育調査を行い、併せて他の兼用種との交雑種を作り、食味官能調査を実施した結果、対馬地鶏の体重は横斑プリマスロック種や、ロードアイランドレッド種とほぼ同じ発育を示し、食味官能調査では専用ブロイラーより明らかに交雑種がうまいという結果を得たが、これらの交雑種は増体量に乏しく、飼料要求率が悪かったので、昭和1979年度は肉用専用種との交雑種を作り試験を実施した。

### 1. 試験方法

#### (1) 育成試験

##### 1) 供試鶏、及び羽数

第1表 供試鶏及び羽数

区	交配様式	略字	羽数
1	対馬×ロードアイランドレッド	つしま×SR	92羽
2	対馬×白色プリマスロック	つしま×WR	86 "
3	専用ブロイラー	WC×WR	74 "
	計		252 "

2) 試験期間 1979年5月24日～9月4日まで105日間

3) 飼養管理 えづけより、21日齢まで電熱バッテリー育すう器で飼育し以後平飼い鶏舎へ収容。飼料は市販のブロイラー用を給与した。

#### (2) 官能検査

1) パネリスト パネリストは健康で鶏肉の嫌いでない女子大生20名で実施した。

2) 供試鶏及び供試料 供試鶏は前記3鶏種を用い試料はこれらの107日齢の手羽肉10gに1%の食塩を振りかけ、100℃で20分間蒸したものをを用い、方法は1対比較法により実施した。

3) 評食組合せ及び順序 評食はパネリストを2グループに分け表2の組合せ順序により実施した。

### 2. 試験成績

#### (1) 育成試験成績

1羽当りの♂♀平均体重、飼料消費量、飼料要求率は

図1、図2、図3のとおりである。70日齢時における体重はWC×WR>、つしま×WR>、つしま×SRの順となり、つしま×WRはWC×WRより約、1,000g軽くなったがつしま×SRより、600g重くなった。飼料消費量は体重に準じて多かったが、飼料要求率はつしま×WR 2.37>、WC×WR 2.42>、つしま×SR 2.94となり、地鶏と肉用種との交雑種が専用種より若干優れた成績を示した。

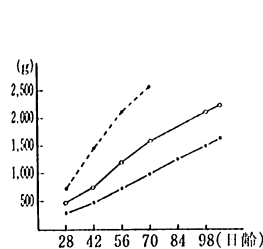


図1 1羽当り平均体重

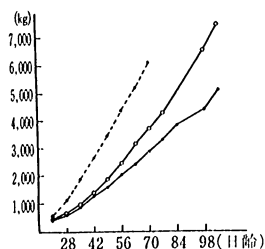


図2 飼料消費量

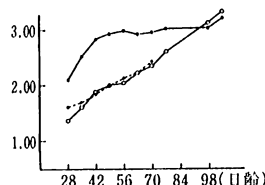


図3 飼料要求率

凡例

--- WC×WR  
 ····· つしま×WR  
 —●— つしま×SR

#### (2) 官能検査成績

好ましさ、硬さ、におい、うま味、舌ざわりについて味覚官能検査を行なった結果、好ましさについてはWC×WRと他の鶏種間に5%水準で有意差が認められ、他の鶏種が優れ、またにおいについてはつしま×SRと他の鶏種間に1%水準で有意差が認められ、つしま×SRがよかった。又、うまみについてはつしま×SR、つしま×WR、WC×WRの順となり、つしま×SRと他の鶏種間に1%水準の有意差が認められたが硬さと舌ざわりについては差が認められなかった。

以上の成績から味覚官能検査では、つしま地鶏を利用した交雑ブロイラーが専用ブロイラーより明らかに好まれる結果であったが、つしま×SRは105日齢時の飼料要求率ではつしま×WRより多少優れたが発育に難点があった。したがって、今後うまいブロイラーとしては、つしま地鶏の♂を肉用専用種の♀に交配したものに重点をおきながら効率のよいブロイラーを作出するとともに、飼料面からの検討を加えていく予定である。

第2表 女子大生評食組合せ及び順序

グループ	評食順	質問表	1回目		2回目		3回目	
			♂	♀	♂	♀	♂	♀
1班	A→B	A	つしま×WR	つしま×WR	つしま×WR	つしま×SR	WC×WR	WC×WR
		B	WC×WR	つしま×SR	WC×WR	WC×WR	WC×WR	WC×WR
2班	A→B	A	WC×WR	つしま×SR	WC×WR	WC×WR	WC×WR	WC×WR
		B	つしま×WR	つしま×WR	つしま×SR	つしま×SR	つしま×SR	つしま×SR